



学校教育目標：ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく未来を生き抜く生徒の育成

ご卒業おめでとうございます



やわらかな光をあび、春の風が快い季節となりました。本日、第77回卒業証書授与式を挙行し、16名の卒業生がこの学び舎を巣立っていきました。卒業はゴールではなく、新たな道のりのスタートです。夢と希望をもって、自分の道を切り拓いて進んでほしいと願っています。

※以下、卒業式の学校長式辞の一部です。



「人間力」・「刻石流水」



さて、卒業する皆さんが飛び立とうとしている未来社会は、AIの急速な進化や技術革新に伴い、人の働き方や生き方を含めた社会全体の構造までが、激しく加速度的に変化しています。まさに予測困難な時代であり、その変化に対応できる資質や能力が求められてきます。しかし、どんなに世の中が変わり、求められる能力が変わろうとも、決して変わることなく必要とされる力もたくさんあります。その中で皆さんに大切にしてほしいのは「人間力」です。「人間力」とは、わかりやすくいうと「社会で生きていくための力」です。言い換えれば、『人として信頼される姿勢や行動の在り方』と言ってもよいかと思います。どうか「人間力」を磨き続けてください。

そこで、「人間力」にも通ずる次の言葉を、卒業のはなむけとして贈ります。

『刻石流水』（こくせき りゅうすい）です。元は仏教経典の中にある「情を懸けしは水に流し、恩を受けしは石に刻むべし」を四文字熟語にした言葉のようです。意味は、「自分がしてあげたことは水に流して、相手にしてもらった恩は忘れてはならない。」ということです。人は往々にしてその逆になってしまいがちで、人にしてもらった恩は忘れ、「せっかく私がこんなにしてあげているのに、・・・」と、見返りを求めた不満が出てしまいます。自分の利益ばかりを考えず、誰かのために行動でき、感謝の気持ちを決して忘れない、「刻石流水」が自然に実行できる人になりたいものです。

・・・・・・・・・・

さあ、卒業生の皆さん、この素敵な「ふるさと仁保」で学んだことを誇りに思い、これまで支えていただいたご家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、未来に向かって一歩ずつ、そして力強く歩んでいってください。

結びに、卒業生の皆さんの輝かしい前途を祝し、ますますのご活躍とご多幸を祈念して、式辞といたします。

令和6年3月8日

山口市立仁保中学校長 藤田 忠 功

今年度も残りわずかとなり、26日の修了式をもって大きな節目を迎えます。1・2年生は、進級に向けて気持ちを高めていることと思います。保護者の皆様・地域の皆様の力強く温かいご支援のおかげで、子どもたちは健やかに成長しています。心から感謝申し上げます。あとわずかではございますが、しっかりと年度末を締めくくり、新年度を迎えたいと思いますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



仁保中トピックス



プロに学ぶ会 (1/30)

1・2年生が、キャリア教育の一環でプロに学ぶ会を開催し、「i-UNITED HOLDINGS」「ときつ養蜂園」「秋川牧園」から講師をお招きしました。



2年立志式 (2/14)

2年生が、キャリア教育の一環として立志式を開催しました。一人一人が、自分の生き方や夢・目標について堂々と発表しました。



JAから花の贈呈 (3/4)

J Aグループ山口さんから、卒業生に花の贈呈がありました。代表して上野さんと山根さんが贈呈式に出席しました。



木のおもちゃづくり (3/1)

「思春期子育て体験事業」のひとつとして、2年生が木のおもちゃづくりを行いました。重田木型の重田秀徳さんにご指導いただき、カスタネットを制作しました。



コサージュづくり (3/4)

卒業生に卒業式当日胸に飾ってもらおうと1・2年生の有志がコサージュづくりを行いました。山下さんにご指導いただき、きれいなコサージュができあがりました。



3年生を送る会 (3/7)

卒業式前日に、生徒会執行部の企画・運営で3年生を送る会が開催されました。笑いあり感動ありの忘れられない時間となりました。



第77期同窓会入会式 (3/7)

卒業式の前日に、同窓会長の竹下明誠様をお迎えして、第77期同窓生の同窓会入会式を行いました。卒業生たちは、これからは同窓生の一人として、母校や地域の発展に寄与してくれることと思います。



行事紹介

3 月

22日(金) 仮入学
25日(月) 1・2年保護者会
26日(火) 修了式
29日(金) 離任式
(11:00~)



4 月

8日(月) 着任式・始業式
入学式